

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業内容	③ 交付金充当額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値詳細
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	
1	大洲市総合戦略策定事業	総合戦略等策定支援業務 8,208,000円 会議開催等経費 4回分 515,422円	8,416,000							大洲らしい食 11→24 大洲コロッケ5→7 アマゴのさつま3→9 とんくりまぶし1→2 いもたき2→6 取材6社 読売・愛媛・愛媛経済レポート・南海放送・テレビ愛媛・CATV 支援対象認定品売上額 H26 218,747千円 → H27 248,341千円 (13.5%増) 9社 (10商品) 大石フーズ (いもたきセット・いもたき料理) 養老酒造 (風の里) ピロファミリー (栗入ミートカレー) 富永松栄堂 (ひとくち生志ぐれ) シロモト食品 (じゃこカツ) サンフーズ (栗ごはんの素) 中川食品 (しめとうふ) あまごの里 (アマゴの甘露煮) くみあい食品 (栗甘露煮袋詰品)
2	食・特産品のブランド力強化推進事業	大洲特産品開発普及委員会 4,964,472円 受賞作品のブラッシュアップ、常時提供できるしくみづくり、情報発信等 商品開発(いもたきレトルト(市内飲食店卸用・あまごの開き)、ブラッシュアップ(あまごのさつま、とんくりまぶし等)、イベントを活用したPR、情報発信(タウン情報まつやま、NICETOWNかがわ、愛媛こまち、香川こまち等)など 日本三大いもたきサミット 7,979,045円 いもたきサミット開催に係る経費(大洲市・山形県中山町・島根県津和野町) 日本三大芋煮1500食、元祖大洲のいもたき500食 ポスター、チラシ、愛媛新聞、愛媛新聞広告折込、上記情報発信と併せて実施 認定品等供給力強化支援事業22,297,000円 認定事業者等に対して認定品の販路開拓や供給力の拡大に要した経費の支援 補助率2/3	32,000,000	指標① 大洲らしい食を提供する飲食店数	2	倍	H28.3	2	地方創生に非常に効果的であった	【今後の取組み】 事業者の希望するターゲットや商品の価値等に応じた販路拡大を支援し、専門家の協力を得ながら、魅力のある特産品の開発・支援を進める。
				指標② 日本三大いもたきサミット来場者数	3,000	人	H27.10	8,000		
				指標③ 日本三大いもたきサミット取材マスコミ数	5	社	H27.10	6		
				指標④ 支援対象認定品等売上額増加	5	%	H28.3	14		
3	南予地域事業承継先紹介支援に係る官民連携事業	調査研究委託 2,559,976円	2,559,976	指標① 事業承継困難企業の承継困難状態を解消	10	%	H28.4	調査実施	地方創生に効果があつた	【今後の取組み】 商工会議所、商工会、金融機関等と連携を図りながら、南予全体で事業承継を支援する仕組みづくりを進める。
4	地域観光資源を活用した誘客促進事業	【観光総合パンフレット制作】 日本語、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語 ・観光パンフレット 5種類 3,780,000円 ・臥龍山荘リーフレット 5種類 831,600円 ・文化財案内リーフレット(如法寺仏殿・長浜大橋・大洲城)3,024,000円 ・市勢要覧英語版 1,743,900円 【テレビ等を活用した広告宣伝】 ・スポットCM等の放映 7,992,000円 【公衆無線LANの整備】 設計 499,500円 工事・委託15,660,000円	33,531,000	指標① 外国人観光客数増加	10	%	H28.3	77	地方創生に非常に効果的であった	外国人観光客数 H26 925 → H27 1,641 (77%増) 臥龍山荘 H26 642→H27 1,082 大洲城 H26 283→H27 559 ※H26外国人の集計があるのは2施設 【今後の取組み】 眺望スポットの選定・活用 うかい新モデル船建造 着地型旅行商品の販路拡大 えひめいやしの南予博 本格開催:平成28年3月26日~11月20日 大洲市の歴史や風土、伝統を未来につなげる市民参加型の観光まちづくり
5	えひめいやしの南予博実施事業	14,796,000円 プレイバント期間(平成27年11月1日~平成28年3月25日) 地域資源をテーマに誘客を進め、広域周遊や連携、旅行商品の造成を行うとともに、各種プレイバントやプロモーションなどを実施する経費(負担金)	14,000,000	指標① 平成27年度下半期主要観光施設入込数	242,765	人	H28.3	244,367	地方創生に非常に効果的であった	下半期主要観光施設入込数 H26 231,205人 → H27 244,367人 (5.7%増) 主要観光施設入込数 H26 532,097人 → H27 551,412人 (3.6%増)
6	椎茸生産振興事業	22,278,572円 市内の生産者(年間1万個以上の植菌を行う者)が、生産意欲の向上や産地化・生産量の拡大を目的として購入する椎茸の種駒代に対する支援(事業費の1/2以内)	13,981,000	指標① 平成27年度乾椎茸生産量	120	トン	H28.3	82	地方創生に効果がなかった	乾椎茸生産量 H26 114.9t → H27 82.4t H22 H23 H24 H25 H26 H27 補助種駒相当数 2,406万 2,164万 1,990万 1,715万 1,022万 1,601万 補助者数 384 345 312 273 177 231 補助単価 0.6円 0.6円 0.6円 1.4円 1.4円 1.4円 市場平均価格(5月) 4,480円 4,220円 2,840円 3,120円 5,013円 乾椎茸生産量 113.0t 139.5t 113.6t 125.5t 114.9t 82.4t 生産者数 602 605 529 547 509 470 【今後の取組み】 風評被害に伴う価格低迷の影響から、生産者、生産量ともに減少しているが、近年、価格が安定していることから、補助事業を継続し、生産者や森林組合等と連携しながら、植菌量の増加や後継者の育成を図り、目標とする生産量の確保に努める。
7	乾燥タケノコ生産拡大による竹林再生・利用促進事業	12,266,800円 乾燥タケノコの生産拡大に向けて放置竹林及び資機材等の整備を支援する経費(補助金) 竹林整備 38万円/ha 作業道開設 1/3以内(基準単価1,200円/m) 獣害対策 1/3以内 資機材整備 1/3以内(鍋・かまど等)	12,000,000	指標① 平成27年度竹林整備面積(市単独)	20	ha	H28.3	7	地方創生に相当程度効果があつた	竹林整備 市単独 H26 0ha → H27 6.52ha 国庫補助 H26 0ha → H27 26ha 生産組織数 H26 20組織 → H27 26組織 → H28 53組織 乾燥タケノコ生産量 H27 1.1t → H28 5.48t 【今後の取組み】 引き続き、乾燥タケノコの生産拡大に向けた竹林や資機材等の整備を支援しながら、森林組合等の関係機関と連携した生産体制の充実に努め、目標とする生産量の確保を図る。
				指標② 平成27年度竹林整備面積(国庫補助)	30	ha	H28.3	26		
				指標③ 生産組織数	40	組織	H28.3	26		

合計 116,487,976